



報道関係者 各位

令和2年11月26日

【照会先】

徳島労働局職業安定部職業安定課
課長 西村 勉
課長補佐 以西 和恵
地方職業指導官 佐藤 雅彦
(電話番号) 088-611-5383

令和3年3月新規学校卒業予定者(高卒・大卒)の就職内定状況等を取りまとめ

～新規高卒就職内定率は令和2年10月末時点で67.3%～
(学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計)

～新規大卒就職内定率は令和2年10月末時点で53.8%～

「徳島新卒者等人材確保推進本部」(本部長 日根直樹徳島労働局長)は、令和3年3月新規学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況(令和2年10月末現在)(速報値)を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

I 新規高等学校卒業予定者

1 就職内定状況

- (1) 求職者(就職希望者数)は1,178人、前年同期(1,410人)に比べ232人(16.5%)減少した。
- (2) 就職内定者は793人、前年同期(1,137人)に比べ344人(30.3%)減少した。
- (3) 就職内定率は67.3%、前年同期(80.6%)を13.3ポイント下回った。

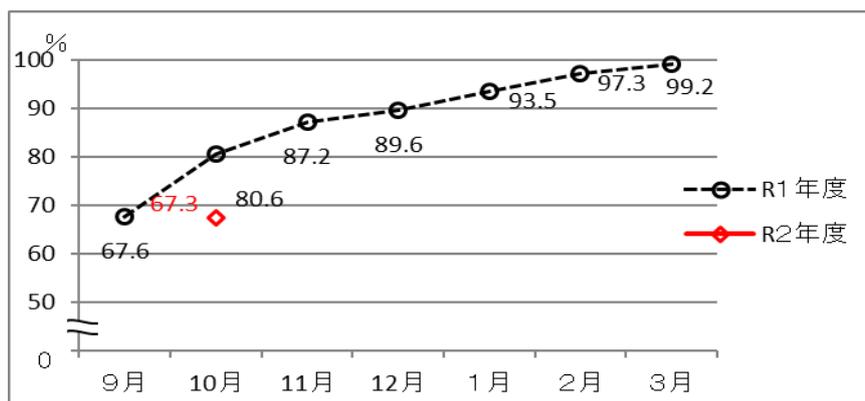
令和2年度

$$\frac{793 \text{人 (就職内定者数)}}{1,178 \text{人 (就職希望者数)}} = 67.3\%$$

令和元年度

$$\frac{1,137 \text{人 (就職内定者数)}}{1,410 \text{人 (就職希望者数)}} = 80.6\%$$

※学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計



2 求人の状況

県内の安定所で受理した求人数は2,055人で、前年同期(2,483人)に比べて428人(17.2%)減少した。

3 県内就職希望者数の状況

(1) 県内就職希望者は916人、前年同期(1,054人)に比べ138人(13.1%)減少した。

(2) 県内就職内定者は578人、前年同期(809人)に比べ231人(28.6%)減少した。

(3) 県内就職内定率は63.1%、前年同期(76.8%)を13.7ポイント下回った。

4 求人倍率

県内就職希望者の求人倍率は2.13倍で、前年同期(2.23倍)に比べ0.1ポイント下回った。

5 就職内定状況(前年9月末時点と比較)

(1) 就職内定者は793人、前年9月(948人)に比べ155人(16.4%)減少し、就職内定率は67.3%、前年9月(67.6%)を0.3ポイント下回った。

(2) 県内の就職内定者は578人、前年9月(662人)に比べ84人(12.7%)減少し、就職内定率は63.1%、前年9月(62.3%)を0.8ポイント上回った。

II 新規大学卒業予定者

1 就職内定状況(届出済分)について

(1) 求職者(就職希望者)は2,120人、前年同期(2,041人)に比べて、79人(3.9%)増加した。

(2) 就職内定者は1,140人、前年同期(1,352人)に比べて、212人(15.7%)減少した。

(3) 就職内定率は53.8%、前年同期(66.2%)を12.4ポイント下回った。

※本調査は、徳島労働局管内の各ハローワークが、未内定学生への就職支援のために、学校が既に把握している範囲での内定状況等を報告していただいた数の集計であり、内定を受けていても学校に届出していない学生は未内定として計上されません。文部科学省と厚生労働省が、共同で調査して公表している全国の数値と直接比較できるものではありません。

2 求人の状況について

県内・外の事業所から大学に提出された求人数は372,375人で前年同期(445,960人)に比べ、73,585人(16.5%)減少した。

《就職支援の取組》

- (1) 令和2年度、徳島労働局においては、若者に対する就職支援を重点施策とし、とりわけ新卒者等の就職支援を推進し、若者と企業のマッチングの強化に取り組んでおり、今後も各学校と連携を保ちながら未内定生徒を把握したうえで、就職支援ナビゲーターが担当者制により、求人情報の提供、職業相談等、きめ細かな個別指導に努めます。
- (2) 11月30日(月)に新規高等学校卒業予定者を対象とした就職面接相談会(ジュニアマッチングフェア)を開催し、将来ある若者の就職の実現に全力で取り組んでまいります。